

地域医療支援病院業務報告書

令和元年9月27日

山口県知事 様

郵便番号 750-8520

報告者 住 所 下関市向洋町一丁目13番1号  
 氏 名 地方独立行政法人下関市立市民病院  
 理事長 田中 雅夫 (印)  
 (電話 (083)231局4111番)



下記のとおり平成30年度の業務について、医療法第12条の2第1項の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

名 称	下関市立市民病院											
所 在 地	下関市向洋町一丁目13番1号											
許 可 病 床 数	一般病床		療養病床		結核病床		感染症病床		精神病床		計	
	156 室	430 床	室	床	室	床	6 室	6 床	室	床	162 室	436 床
地域医療 支援病院 の法定施設	区 分			構 造 設 備 の 概 要								
	集中治療室			主な設備 【別紙1-①】								
	化学検査室			主な設備 【別紙1-②】								
	細菌検査室			主な設備 【別紙1-②】								
	病理検査室			主な設備 【別紙1-②】								
	病理解剖室			主な設備 【別紙1-②】								
	研 究 室			主な設備 【別紙1-③】								
	講 義 室			室数 3 室			収容定員 180 人、24 人、12 人					
	図 書 室			室数 1 室			蔵書数 13,875 冊			【別紙1-④】		
	救急用又は患者 輸送用自動車			主な設備 ストレッチャー、酸素ボンベ、吸引器、生体情報モニター 他			保有台数 1 台					
	医薬品情報管理 室			専用室の場合			床面積 15.345 m <sup>2</sup>					
				共用室の場合			室と共用					



(第2面)

紹介患者 に対する 医療提供 等	初診患者数 ①	紹介患者数 ②	逆紹介患者数 ③	地域医療支援 病院紹介率 $\frac{②}{①} \times 100$	地域医療支援 病院逆紹介率 $\frac{③}{①} \times 100$	
	7,688人	5,930人	10,975人	77.1%	142.8%	
【別紙2】	算定期間	平成30年4月1日から平成31年3月31日まで				
共同利用	共同利用の実績	【別紙3-①】				
	共同利用の範囲	病床・医療機器等・研究施設・その他				
	共同利用について 定めた規程の有無	④ ・ 無 【別紙3-②】				
	利用医師等登録制 度の担当者	職種	医師（地域連携部長）			
		氏名	坂井 尚二			
	登録 医療 機 関	名 称	開設者の氏 名又は名称	開設者の 住所又は 所在地	主たる 診療科 目	報告者との 経営上の 関係
		【別紙3-③】				
	常時共同利用可能な病床数		5床			

		職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
重症救急患者の受入れに対応した医療従事者		医師	62名	常勤・非常勤 専従・非専従	8:30～17:15	
		看護師	11名	常勤・非常勤 専従・非専従	8:30～17:15	
		准看護師	1名	常勤・非常勤 専従・非専従	8:30～17:00	
				常勤・非常勤 専従・非専従		
		【別紙4-①】		常勤・非常勤 専従・非専従		
				常勤・非常勤 専従・非専従		
				常勤・非常勤 専従・非専従		
救急医療の提供	重症救急患者のための病床	優先的に使用した病床			14床	
		専用病床			(14床のうち) 2床	
	重症救急患者に必要な検査又は治療を行った診療施設	区分	床面積	設備の概要	24時間使用の可否	
		【別紙4-②】	m <sup>2</sup>			
	重症救急患者を24時間体制で受け入れた診療科目	救急科・内科・血液内科・腎臓内科・リウマチ膠原病内科・緩和ケア内科・ペインクリニック内科・循環器内科・消化器内科・小児科・外科・脳神経外科・呼吸器外科・心臓血管外科・消化器外科・小児外科・整形外科・リハビリテーション科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・放射線診断科・放射線治療科・麻酔科・乳腺外科・病理診断科・歯科・歯科口腔外科				
	救急病院の認定状況及び救急医療の実施状況	・救急告示病院 ・病院群輪番制参加病院				
	救急医療の提供の実績	救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者の数	【別紙4-③】 2,456人 (うち入院を要した患者の数 759人)			
その他の救急患者の数		3,350人 (うち入院を要した患者の数 414人)				
計		5,806人 (うち入院を要した患者の数 1,173人)				

地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修	研修内容	【別紙5-①】				
	研修実施回数	17回				
	研修生の数	院内：540人 院外：466人				
	研修プログラムの有無	○有 ・ 無 【別紙5-②】				
	研修委員会の設置の有無	○有 ・ 無 【別紙5-③】				
	研修指導者	氏名	職種	診療科目	役職等	臨床経験年数
		(教育責任者) 【別紙5-④】 (その他)				年
	研修を実施した施設	区分	床面積	設備の概要		
		本館2階講堂	210.78 m <sup>2</sup>	プロジェクター・スクリーン・ノートPC・音響設備・他		
		新館2階カンファレンスルーム A	55.51 m <sup>2</sup>	プロジェクター・スクリーン・ノートPC・音響設備・他		
新館2階カンファレンスルーム B		36.85 m <sup>2</sup>	プロジェクター・スクリーン・ノートPC・他			

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法	管理担当者の氏名	責任者	副院長（診療情報管理室長） 上野 安孝		
		その他の担当者	事務部次長（診療情報管理室長補佐） 秋枝 淳司		
			経営企画グループ長 藤永 真一		
			医事グループ長 岩本 秀樹		
	診療に関する諸記録（病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）		保管場所	分類方法	
			医事グループ並びに保管庫	記録別患者別	
			区分		保管場所
			共同利用の実績		病診連携室
	病院の管理及び運営に関する諸記録		救急医療の提供の実績		総務グループ
			地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績		経営企画グループ
		閲覧実績		診療情報管理室	
		紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする書類		経営企画グループ	
診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧	閲覧担当者の氏名	責任者	副院長（診療情報管理室長） 上野 安孝		
		その他の担当者	事務部次長（診療情報管理室長補佐） 秋枝 淳司 経営企画グループ長 藤永 真一 医事グループ長 岩本 秀樹		
	閲覧場所	地域連携部内病診連携室			
	閲覧手続	下関市立市民病院診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理・閲覧要綱第5条による【別紙6】			
	閲覧件数	医師	0件		
		歯科医師	0件		
		地方公共団体	0件		
その他		0件			
計		0件			
医療法施行規則第9条の19第1項に規定する委員会の開催	開催回数	4回			
	委員会における議論の概要	地域医療支援病院としての業務遂行状況について ・紹介率・逆紹介率について ・共同利用について ・地域医療研修会の開催及びプログラムについて ・当院への要望 等			

患者相談	患者相談を行う場所	医療相談室	
	主な担当者	医療ソーシャルワーカー5名・看護師2名	
	相談件数	【別紙7】	11,460件
	相談の概要	【別紙7】	
その他の地域医療支援病院に求められる取組	病院の機能に関する評価	評価の有無	○有 ・ 無
		評価を行った機関名	公益社団法人 日本医療機能評価機構
		評価を受けた時期	2016年6月3日
	病院の果たしている役割に関する情報発信	情報発信の有無	○有 ・ 無
		情報発信の方法及び内容	・ホームページにて情報発信 ・市民公開講座などの実施 ・病院広報紙を年4回発行等
	退院調整	退院調整部門の有無	○有 ・ 無
		退院調整の概要	【別紙8】
	地域連携の促進	地域連携クリティカルパスの策定の有無	○有 ・ 無
		地域連携クリティカルパスの種類及び内容	大腿骨頸部骨折、脳卒中
地域連携クリティカルパスを普及させるための取組の概要		下関地域連携パス研究会にて、病院間の連携及び情報共有を行っている。	

注 1 報告者の住所及び氏名は、法人にあっては、その主たる事務所の所在地並びに名称及び代表者の氏名を記入すること。

2 報告者の氏名を自署したときは、押印することを要しないこと。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4とする。